



UTO から世界へ！ 第32号

フィジー高校留学インタビュー Part1

1年間のフィジー高校留学を終えて、3学期から本校2年生に復学した端迫 陽帆(はさこ あきほ)さんにフィジー留学についてインタビュー。



留学先の国・都市名 フィジー共和国ラウトカ

高校名 Jasper Williams High School

(ジャスパーウィリアムズハイスクール) 女子校

期間 1年間 (R6年1月~R6年12月)

概要 高校2年生に在学し、現地の学生と授業を受ける。学校で友達と教え合いながら授業を受けたり、休日には友達と海に行ったり楽しい日常生活を送った。

フィジー共和国とは

南太平洋の群島諸島。約330の島や環礁がある。1970年にイギリス植民地から独立。公用語は英語、フィジー語、ヒンドウスターニー語。人口約944,000人。通貨フィジー・ドル。1フィジードル=約67円

Q1 なぜフィジーを選んだの？

小さい頃から発展途上国に興味があり、JICAなどの団体がフィジーを支援するために活動していることを知り、活動している様子や発展途上国の現状を詳しく知りたかったからです。

Q2 なぜ高校留学しようと思ったの？

中学生の頃から海外の文化や生活に興味があり、調べていたところ高校留学があることを知りました。また、自分の進路の視野を広げたくて高校留学を決めました。

Q3 いつ決めたの？

高校一年生の時に高校生のタイミングで留学しよう!と決め、エージェン会社を調べ始めました。最初は両親に反対されていたので、自作した留学のメリットとデメリットをまとめたスライドを使ってプレゼンをしたところ承諾を得ることができ、高校2年生の1学期に留学を決めました。



続きは次号で!

